



千葉県立美術館 年報 No.42 平成27年度

April 2015 – March 2016

Annual Bulletin of Chiba Prefectural Museum of Art

目 次

ごあいさつ	1
沿革	2
平成27年度主要記事	4
展示事業	
1 アート・コレクション展	6
2 特別展	12
3 千葉県移動美術館	14
普及事業	
1 特別展関連事業	16
2 ワークショップ	18
3 実技講座	19
4 博学連携事業	20
5 地域連携事業	21
6 活動協力など	22
7 情報資料室	23
調査・収集活動	
1 平成27年度貸出資料一覧	26
2 平成27年度新収蔵資料一覧	26
3 平成27年度収蔵資料数一覧	26
管理運営	
1 組織	28
2 平成27年度職員	28
3 平成27年度利用状況	29
4 施設	32
平成27年度利用案内	34

ご あ い さ つ

千葉県立美術館は、昭和49年の開館以来、地域美術館及び近代美術館としての活動を通し、県民の皆様の様々な美術に対する要望にお応えできるよう努めておりますが、このたび、平成27年度の活動を取りまとめた「年報No.42」を刊行いたします。

平成27年度は、耐震改修工事等による約2年間の休館後、通常の体制での運営に戻った初年度に当たります。

特別展として、「千葉県文化財保護条例制定60周年記念 香取神宮一神に奉げた美一」を11月17日から1月16日までの48日間開催し、8千人を超す来館者をお迎えすることができました。また、39回目となる移動美術館については、勝浦市芸術文化交流センターを会場に開催しました。

本館が収蔵する作品の展示については、「房総と近代美術」、「三人の水彩画家」「バルビゾン派とフォンタネージ」など、様々な切り口のテーマに基づいて紹介する「アート・コレクション展」を、年間を通して開催しました。

このほか、美術についての理解を深め、作品鑑賞の一助とするため、展覧会に関連した美術講演会やミュージアムコンサートを催しました。さらに、こどもたちに創作の喜びや美術館活動に対する理解を深めてもらうための「ワークショップ」、「美術館体験学習」、「おもしろ鑑賞教室」などを実施したほか、学校への出前授業である「出張鑑賞教室」にも取り組みました。また、県民の皆様の美術創作への意欲にお応えできるよう美術の各分野にわたる実技講座も実施しました。

作品収集にあたりましては、収集基本方針に基づき、作家や所蔵家の方々の協力を得ながら、コレクションの体系化とその充実を図りました。

今後とも、関係諸機関や各団体をはじめ、県民の皆様方の指導と支援をいただけますようお願いいたします。

平成29年3月

千葉県立美術館長

田村俊雄

■ 沿革 ■

昭和44年12月9日	第1回千葉県立美術館建設懇談会を開催 (委員15名)	昭和55年3月16日	県民アトリエ棟完成記念講演会
昭和45年1月19日	県立美術館建設の請願書が2月県議会で採決	昭和55年4月1日	千葉県美術品取得基金条例施行
昭和45年7月24日	建設地として千葉公園に内定	昭和55年9月9日	県民アトリエ棟情報資料室開設
昭和45年11月12日	第1回美術館設置準備専門委員会を開催 (委員10名)	昭和58年7月29日	美術普及コーナー開設
昭和46年3月31日	千葉公園内の美術館基本構想成立	昭和58年11月12日	開館10周年と県展開催35周年を記念した記念碑建立
昭和46年6月24日	体育館移転問題等で千葉公園内建設が不可能となる代案として千葉市中央港埋立地を提示	昭和61年3月25日	展示棟、収蔵庫、機械室増築工事設計予算化
昭和47年1月5日	建設地を千葉市中央港の埋立地に決定し、使用について開発庁長と教育長で覚書を交換	昭和61年4月10日	入口門扉4ヶ所設置
昭和47年3月31日	基本設計完了(株式会社大高建築設計事務所)	昭和61年4月23日	美術館西側沿道寄り生垣植栽
昭和47年7月31日	展示棟第1期工事の実施設計完了	昭和61年8月12日	講堂浸水防止工事完了
昭和47年9月21日	展示棟杭打工事着工	昭和62年3月25日	機械室増築基本設計及び展示棟、収蔵庫、機械室増築工事実施設計完了
昭和47年10月13日	展示棟建築工事請負契約議案可決	昭和62年10月15日	展示棟、収蔵庫、機械室増築工事着工(監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店)
昭和47年12月10日	展示棟建築工事着工(監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店)	昭和63年5月20日	受水槽設備改修工事(地上式)着工
昭和48年4月1日	文化課に美術館準備班を置き、開館事務開始	昭和63年8月31日	受水槽設備改修工事(地上式)完了
昭和48年11月30日	管理棟(第2期工事)の実施設計完了	昭和63年8月31日	展示棟(第8展示室)、収蔵庫(第3、4室)、機械室増築工事完了
昭和49年3月31日	展示棟竣工	平成元年2月28日	増築展示棟周辺芝張り工事完了
昭和49年4月1日	千葉県立美術館発足(職員14名)	平成元年4月1日	普及課が新設され、3課で業務実施
昭和49年10月23日	開館記念式典開催	平成元年4月20日	開館15周年記念特別展「房総と近代美術」を開催
昭和49年10月24日	開館記念展「千葉県美術展覧会」開催 一般公開開始	平成元年9月11日	空調機改修工事実施設計完了
昭和50年2月21日	管理棟杭打工事着工	平成2年6月8日	空調機改修工事完了
昭和50年3月13日	管理棟建築工事請負契約議案可決	平成2年9月29日	収蔵庫(第1、2室)冷凍機改修工事着工
昭和50年3月16日	管理棟建築工事着工(監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店)	平成2年11月7日	室内標識改修工事着工
昭和51年2月20日	管理棟竣工	平成3年1月31日	収蔵庫(第1、2室)冷凍機改修工事完了
昭和51年3月2日	管理棟完成記念特別展「浅井忠とその師弟展」を開催	平成3年2月20日	室内標識改修工事完了
昭和51年6月7日	寄付によって、正面玄関植栽	平成3年12月6日	空調用ポンプ改修工事完了
昭和52年3月12日	彫刻の野外展示開始	平成3年4月1日	運営の一部を(財)千葉県社会教育施設管理財団へ委託
昭和52年4月10日	展示棟の一室に美術普及室を開設	平成4年10月20日	温湿度記録装置改修工事完了
昭和53年1月18日	外構工事として、駐車場拡張(97台)	平成4年12月18日	食堂改修工事完了
昭和53年2月21日	美術普及棟の準備会発足	平成6年7月23日	開館20周年記念特別展「房総の美術」を開催
昭和53年10月17日	美術普及棟建築予算を計上	平成10年2月23日	ガス設備改修工事完了
昭和53年11月18日	浅井忠像完成除幕式	平成10年12月24日	空調設備改修工事完了
昭和53年11月30日	美術普及棟実施設計完了	平成11年6月5日	開館25周年記念特別展「ヒューストン美術館展」を開催
昭和54年1月8日	美術普及棟を県民アトリエ棟と改称	平成12年3月30日	屋根材剥落補修工事完了
昭和54年3月5日	県民アトリエ棟建築工事請負契約議案可決	平成12年7月31日	点字ブロック設置工事完了
昭和54年3月22日	県民アトリエ棟建築工事着工(監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店)	平成12年7月31日	文部省委嘱事業「親しむ博物館づくり事業」受託
昭和55年2月29日	県民アトリエ棟竣工	平成13年3月29日	屋根材剥落補修工事(第7展示室)完了
		平成14年3月25日	屋根材剥落補修工事(第6展示室)完了
		平成14年3月25日	非常灯用直流電源装置改修工事完了
		平成14年3月25日	防犯カメラ改修工事完了
		平成14年12月20日	直流電源装置蓄電池改修工事完了

- 平成15年 3月25日 空調設備改修工事実施設計完了
- 平成15年 7月10日 空調設備改修工事完了
- 平成16年 4月18日 来館者500万人達成
- 平成16年11月27日 開館30周年記念企画展「漁民を描く一渡辺
學の世界」開催
- 平成17年 8月20日 空調用インバータ装置改修工事完了
- 平成18年 3月21日 電話装置改修工事完了
- 平成18年 3月31日 アトリエ棟空調機修繕工事完了
- 平成18年 3月31日 (財)千葉県社会教育施設管理財団への運営
委託終了
- 平成21年 3月31日 空調設備修繕工事完了
- 平成22年 3月25日 耐震補強事前調査完了
- 平成23年 3月11日 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)発生
3月末まで臨時休館
- 平成23年 6月17日 来館者600万人達成
- 平成23年 6月30日 耐震補強設計完了
- 平成24年 3月21日 耐震意匠設計完了
- 平成24年12月12日 耐震改修等工事着工
- 平成25年 1月 4日 耐震改修等工事により休館
- 平成26年 9月30日 耐震改修等工事竣工
- 平成27年 1月23日 開館40周年及び再開館記念式典開催
- 平成27年 1月24日 開館40周年記念特別企画展「平山郁夫展－
仏教伝来の軌跡、そして平和の祈り－」を
開催
- 平成27年10月 6日 給水管改修工事(管理棟)完了
- 平成27年11月28日 第8展示室軒天改修工事完了
- 平成28年 3月28日 給水設備改修工事完了



■平成27年度主要記事■

- 4月1日 アート・コレクション「房総と近代美術」
(～9/21)
- 4月1日 アート・コレクション「日本人が見たヨーロッパ」
(～5/10)
- 4月1日 アート・コレクション「書の中の恋、酒、そして旅」
(～5/10)
- 5月16日 アート・コレクション「モノクローム」(～6/28)
- 5月16日 アート・コレクション「リアルな作品誕生の理由」
(～6/28)
- 5月18日 第1回ワークショップ 国際博物館の日記念事業
「たのしい日本画教室」
- 5月30日 館長によるギャラリートーク①
- 5月30日 幕張総合高校美術館講座(6/13・20・7/11・25・26
5日間)
- 6月3日 実技講座「陶芸(基礎)」(～6/5・11・25・7/16)
- 6月14日 県民の日関連事業「カンバッジを作ろう!」
- 6月20日 館長によるギャラリートーク②
- 6月20日 第2回ワークショップ「小さなアニメーションを作
ろう!」
- 6月23日 幕張中学校職場体験(～6/24)
- 7月4日 アート・コレクション「大きな画面」(～8/16)
- 7月4日 アート・コレクション「こどものための展覧会 こ
の夏限定!不思議の森美術館」(～8/16)
- 7月6日 第39回千葉県移動美術館 千葉県立美術館名品展
(～8/31)
会場:勝浦市芸術文化交流センター Kuste
- 7月18日 実技講座「コラグラフ(版画)」(7/25)
- 7月19日 館長によるギャラリートーク③
- 7月21日 インターシッピング(～7/23)
- 7月30日 博物館実習(～8/5)
- 8月1日 館長によるギャラリートーク④
- 8月1日 第3回ワークショップ「この夏限定!不思議の森美
術館」
- 8月18日 実技講座「篆刻」(8/11・21・25・28)
- 8月18日 第39回千葉県移動美術館 美術館がやってきたin勝
浦(～8/31)
会場:勝浦市芸術文化交流センター Kuste
- 8月22日 アート・コレクション「新収蔵作品展」(～9/21)
- 8月22日 アート・コレクション「三人の水彩画家 中西利雄・
不破章・小堀進」(～9/21)
- 8月22日 第4回ワークショップ「いろいろ作ろう!美術館の
縁日だよ!」
- 8月23日 (移動展関連事業)ギャラリートーク
会場:勝浦市芸術文化交流センター Kuste
- 8月29日 ミュージアムコンサート
- 8月29日 (移動展関連事業)日本画素材ボックス
会場:勝浦市芸術文化交流センター Kuste
- 8月30日 (移動展関連事業)ギャラリートーク
会場:勝浦市芸術文化交流センター Kuste
- 9月20日 館長によるギャラリートーク⑤
- 9月26日 第5回ワークショップ「オリジナルモノレールを作
ろう!」
- 10月17日 千葉モノレール祭り2015
会場:萩台車両基地
- 10月25日 ワークショップ「等身大から始めよう2015」
- 11月3日 実技講座「金工」(11/5・10・12・17・19・25)
- 11月17日 特別展「香取神宮一神に奉げた美」(～1/17)
- 11月22日 特別展「香取神宮一神に奉げた美」天真正伝香取神
道流
- 12月2日 実技講座「陶芸(応用)」(～12/4・9・10・2/4・
3/3)
- 12月19日 特別展「香取神宮一神に奉げた美」美術講演会①
「香取の神への信仰と祭り—古代・中世を中心に—」
- 12月19日 特別展「香取神宮一神に奉げた美」
KATORI special days —もっと香取が好きになる
(～12/20)
- 1月9日 特別展「香取神宮一神に奉げた美」ミュージアムコ
ンサート「新春雅楽演奏会」
- 1月16日 特別展「香取神宮一神に奉げた美」美術講演会②
「香取神宮伝来、国宝・海獣葡萄鏡の魅力と謎」
- 1月23日 アート・コレクション「房総と近代美術」
(～3/6)
- 1月23日 アート・コレクション「版画—メゾチントの魅力」
(～3/6)
- 1月23日 アート・コレクション「バルビゾン派とフォンタネー
ジ」(～3/6)
- 2月16日 アート・コレクション「彫刻」(～4/17)
- 3月8日 実技講座展覧会「美術館とつくろう」展(～3/21)
- 3月12日 アート・コレクション「作品の中の金と銀」
(～4/17)
- 3月12日 アート・コレクション「春」(～4/17)

■ 展 示 事 業 ■

Exhibition

1 アート・コレクション展

房総と近代美術（第1期）

第1展示室では、「工芸と日本画」のテーマで、金属とガラス工芸作品と、風景や人物を題材にした日本画作品を紹介した。

第2展示室では、「浅井忠コーナー」を新設し、浅井忠の初期作品を中心に関係作家と共に紹介した。

会 期 平成27年3月31日(火)～5月10日(日)

開催日数 36日間

会 場 第1・2展示室

展示点数 第1展示室 19点

第2展示室 18点

【第1展示室】 工芸、日本画

No.	作家名	作品名	制作年
1	津田信夫	一点玲瓏	1934
2	香取秀真	烏銅鳳凰香炉	1911
3	鹿島一谷	布目象嵌 白鷺四態図 銀水注	1996
4	岩田藤七	水指	1976
5	各務鉦三	水指	不詳
6	石井康治	環象文器	1993
7	藤田喬平	ヴェニス花瓶	2002
8	島田良祐	海近き村	1954
9	富取風堂	漁村の初夏	1942
10	石川響	小湊の朝	1999
11	田岡春径	竹林	不詳
12	関主税	潤声	1977
13	齊藤惇	上華厳寺詣	1998
14	岩崎巴人	波涛岩礁図	1974
15	島多訥郎	群魚と波動	1975
16	五十嵐幹	華	1976
17	横尾芳月	春風	1986
18	牧野三生郎	三十三間堂	1966
19	大浦掬水	ベカ舟	1971

【第2展示室】 浅井忠コーナー

No.	作家名	作品名	制作年
1	フォンタネージ	牛を追う農婦	1862頃
2	フォンタネージ	森の空地の農婦	1865頃
3	フォンタネージ	神女の図	1876-1878
4	浅井忠	女の顔(模写)	1876-1878
5	浅井忠	少女	1877
6	浅井忠	鍛冶橋	1878頃
7	浅井忠	沢入駅	1884
8	浅井忠	溪流	1884
9	浅井忠	曳舟通り	1885
10	浅井忠	房州白浜	1887
11	浅井忠	磐梯山の図	1888
12	浅井忠	磐梯山の図	1888
13	浅井忠	本と花	1889
14	浅井忠	小丹波村	1893
15	松岡寿	森と小川	1895
16	都鳥英喜	洛北の早春	1934
17	石井柏亭	印度洋上	1910
18	コラン	田園詩	1903

日本人が見たヨーロッパ

明治から昭和初期にかけて、多くの作家たちが西洋絵画を学ぶためヨーロッパに渡った。戦後もヨーロッパの風景に魅せられ、繰り返し渡欧する作家もいる。彼らのまなざ

しが捉えた風景を通して、そこで何を見、何を感じて表現したのかを、国別に展示した。

会 期 平成27年3月28日(土)～5月10日(日)

開催日数 38日間

会 場 第3展示室

展示点数 25点

No.	作家名	作品名	制作年
1	浅井 忠	グレーの塔	1901
2	浅井 忠	バリ公園	1900-1902
3	国松桂溪	仏国トルドンヌ	1923頃
4	中西利雄	南仏風景	1930
5	中西利雄	トリエール・シュール・セヌ	1930
6	石井光楓	ブルターニュにて	1931
7	森 桂一	ランス大聖堂	1959
8	富田通雄	パリ モンマルトルの丘	1963
9	藤井外喜雄	シャルトル	1975
10	行木正義	フランスオンフルール風景	1988
11	白滝幾之助	テームス河	1953
12	小堀 進	ロンドンの朝	1964
13	不破 章	ハンブルグ	1963
14	不破 章	ルッセルスハイム	1974
15	山本不二夫	ハイデルベルグ風景	不詳
16	白滝幾之助	伊国ナポリ	1923
17	白滝幾之助	伊国アシシ	1923
18	石井柏亭	聖フランチェスコ寺院	1923
19	古城江観	ヴェニス所見	不詳
20	田坂 乾	ヴェネチア	1983
21	森 桂一	チューリッヒの丘	1965
22	小堀 進	レマン湖畔	1962
23	中山爾郎	雲と水と北国	1977
24	三橋兄弟治	トレド早春	1973
25	松村三冬	ピランの夏	1988

書の中の恋、酒、そして旅

書の内容は漢詩、和歌、俳句、自作の詩など様々である。その中から特に人々に関わりの深い「恋」、「酒」、「旅」をテーマにした作品を紹介した。

会 期 平成27年3月28日(土)～5月10日(日)

開催日数 38日間

会 場 第8展示室

展示点数 18点

恋をテーマとした作品

No.	作家名	作品名	制作年
1	奥田家山	竹取物語	1988
2	小暮青風	石見の海	1979
3	小暮青風	万葉集東歌	1975
4	小暮青風	刀祢河泊之	不詳
5	中村象閑	万葉二首	1994
6	小安花邨	バイロンの言葉	1966
7	大石隆子	待君	1975
8	高木東扇	玉裳	1979

酒をテーマとした作品

No.	作家名	作品名	制作年
1	中台青陵	杜甫詩飲中八仙歌	1973
2	鈴木方鶴	華下一壺酒	1984

旅をテーマとした作品

No.	作家名	作品名	制作年
1	奥田家山	木簡	1986
2	奥田家山	葉	1989
3	小暮青風	旅に病んで	1985

4	福田丞州	蘇東坡詩	1983
5	揚石舒雁	蘇東坡の七言律詩	1991
6	小暮青風	漂泊の思い	1985
7	金子聰松	孟浩然詩	1992
8	高木東扇	旅人	1981

18	浅井忠	兵士	1894
19	浅井忠	金州城外之図	1895

モノクローム

“一つの色”を意味するモノクローム。この展覧会では、日本画、洋画、尿国、工芸、書、版画の各分野から、一つの色を生かして表現された作品を紹介した。

会 期 平成27年5月16日(土)～6月28日(日)

開催日数 38日間

会 場 第3展示室

展示点数 19点

No.	作家名	作品名	制作年
1	中西利雄	マドマーゼルH (B)	1940-1943
2	ハイド	雨の夜	1906
3	浜口陽三	レダ	1951
4	金子周次	犬若浦釣手晩夏	不詳
5	金子周次	石垣の家・外川	1968
6	山下哲郎	TRAVEL-12	1996
7	野田哲也	Diary:May 7th '86 in Nara	1986
8	利涉重雄	晨への旅	1998
9	古城江観	バリイ島所見	不詳
10	田岡春径	溪谷	1969
11	高村光太郎	猪	1905
12	浅井忠	虎図習作	1902-1907
13	浅井忠	虎図	1902-1907
14	高村光太郎	野兎の首	1945-1952
15	鶴田吾郎	女の横顔	1920
16	小川瓦木	侃のイメージ	1963
17	浅見錦龍	蘭亭序	1981
18	行木正義	作品8 1	1981
19	岩田藤七	茶碗	不詳
20	和田清	赤燈台のある風景	不詳
21	板倉鼎	金魚	1928
22	板倉鼎	静物	1927
23	板倉鼎	金魚	1928

房総と近代美術 (第2期)

第1展示室では、「堀江正章と関係作家」のテーマで、特に洋画の堀江正章を中心にしてその関係作家と共に紹介した。

第2展示室では、「浅井忠コーナー」を設け、浅井が影響を受けたバルビゾン派の作品と、浅井忠が旅先でスケッチした作品を中心に紹介した。

会 期 平成27年5月12日(火)～6月28日(日)

開催日数 42日間

会 場 第1・2展示室

展示点数 第1展示室 20点

第2展示室 18点

【第1展示室】 堀江正章と関係作家

No.	作家名	作品名	制作年
1	堀江正章	耕地整理図	1901-1902
2	石井林響	木華開耶姫	1906
3	石井林響	蓬莱仙境之図	1927
4	石井林響	梅花小禽	不詳
5	青木滋芳	洞門	1965
6	青木滋芳	染色笠森寺	1969
7	堀江正章	西村房太郎像	1926-30
8	松室重剛	秋の山	不詳
9	松室重剛	山	不詳
10	三宅克己	駿州三嶋在の緑陰	1947
11	三宅克己	美濃養老公園	不詳
12	和田英作	塚本靖肖像	1901
13	柳敬助	静物	1921頃
14	柳敬助	デッサン (母子像)	不詳
15	大野隆徳	公園	1912
16	大野隆徳	北京・北海の春 (一)	1938
17	大野隆徳	李朝の鉢と金魚	1934
18	三宅策郎	両神山遠望	2000
19	和田清	南房江見海岸	1970
20	和田清	赤燈台のある風景	不詳
21	板倉鼎	金魚	1928
22	板倉鼎	静物	1927
23	板倉鼎	金魚	1928

【第2展示室】 浅井忠コーナー

No.	作家名	作品名	制作年
1	ルソー	バルビゾンの農場	1850-55
2	ミレー	垣根に沿って草を食む羊	1860頃
3	コロロ	フォンテンブローの風景	1830-35
4	コロロ	フォンテンブローの石切場	1835-40
5	クールベ	嵐	1865頃
6	ドービニー	ヴァルモンドワの小川	1844
7	ドービニー	オワーズ川のほとり	1865
8	ディアズ	森の中の農婦	1868
9	ジャック	森の中	1871
10	フォンタネージ	川辺の二頭の牛	1865頃
11	フォンタネージ	羊飼いの少女	不詳
12	浅井忠	フォンテンブローの夕景	1901
13	浅井忠	平壤大同江煉光亭	1894
14	浅井忠	瀨家邸天長節祝宴	1894-95
15	浅井忠	貔子窩第二軍司令部	1894-95
16	浅井忠	金州城壁上	1894-95
17	浅井忠	金州城南門外	1894-95

リアルな作品誕生の理由^{わけ}

実物そっくりに制作された作品は、古今東西、平面、立体を問わず数多く存在している。「バルビゾン派のリアル」、「写真製版によるリアル」、「細密描写のリアル」、「構成されたリアル」、「立体作品のリアル」という5つのテーマで構成し展示した。

会 期 平成27年5月16日(土)～6月28日(日)

開催日数 38日間

会 場 第8展示室

展示点数 20点

No.	作家名	作品名	制作年
【バルビゾン派のリアル】			
1	クールベ	眠る人	1853
2	トロワイヨン	河辺の道	1860-1865
3	デュプレ	森のはずれ	1860代
【写真製版によるリアル】			
4	野田哲也	Diary:Aug. 9th '81 to Nakatsugawa	1981
5	池田良二	Nobody knows my mind	1981
【細密描写のリアル】			
6	斉藤捷夫	海辺の光景	1983
7	佐善明	サンフランシスコ昼下り	1987

8	片小田栄治	地 I (DIRTY COLLECTIONより)	1990
9	王軍	蘇州水郷	1992
【構成されたリアル】			
10	松澤茂雄	海辺の裸婦	1981
11	高森登志夫	絵画	1983
12	櫻井晨正	Carrie	1990
13	田中定一	私の地球	1990
14	畠中陽一	アルミネーション-光の誘惑-	1992
15	伊藤順一	里	1992
16	星加達夫	影	1996
【立体作品のリアル】			
17	沼田一雅	鸚鵡	不詳
18	高村光太郎	薄命児男子頭部	1905
19	笠原鉄明	帰る日	1993
20	頼永興	心海悠遊	1997

房総と近代美術 (第3期)

第1展示室では、「日本画、洋画、彫刻、工芸、版画」のテーマで、各分野から主に人物を題材にした作品を紹介した。

第2展示室では、「浅井忠コーナー」を設け、浅井がヨーロッパ滞在時に制作した作品やスケッチブックなど関係資料を紹介した。

会 期 平成27年6月30日(火)～8月16日(日)

開催日数 42日間

会 場 第1・2展示室

展示点数 第1展示室 22点

第2展示室 18点

【第1展示室】 日本画、洋画、彫刻、工芸、版画

No.	作家名	作品名	制作年
1	石井林響	木華開耶姫	1906
2	石井林響	夜道を駆ける人	不詳
3	富取風堂	雛妓納涼図	1926
4	富取風堂	猫とかに	不詳
5	高畑郁子	メスティーンソの女達	1977
6	中島千波	identity ※'05--9-white zone	2005
7	藤野天光	希望	不詳
8	高浜かの子	メロディー	1985
9	ハイド	家路	1907
10	不破章	支那服の女	1969
11	富田通雄	卓による女	1958
12	古川弘	夏園少年	1949
13	石井柏亭	舞姫	1953
14	黒田重太郎	女と小犬	1928
15	原勝郎	横向きの夫人像	1948
16	鱸利彦	黄衣	不詳
17	森桂一	子供とピアノ	1937
18	石井柏亭	或尼僧	1942
19	椿貞雄	自画像	1915
20	柳敬助	内田邦彦像	1913
21	石橋武治	窓辺の少女	不詳
22	ルノワール	少女像	1916-1918

【第2展示室】 浅井忠コーナー

No.	作家名	作品名	制作年
1	ルソー	バルビゾン農場の農場	1850-55
2	ミレー	垣根に沿って草を食む羊	1860頃
3	コロロー	フォンテンブローの風景	1830-1835
4	コロロー	フォンテンブローの石切場	1835-1840
5	クールベ	嵐	1865頃
6	ドービニー	ヴァルモンドワの小川	1844
7	ドービニー	オーズ川のほとり	1865
8	ディアズ	森の中の農婦	1868

9	ジャック	森の中	1871
10	フォンタネージ	川辺の二頭の牛	1865
11	フォンタネージ	羊飼いの少女	不詳
12	浅井忠	パリ公園	1900-1902
13	浅井忠	フォンテンブローの森	1901
14	浅井忠	フォンテンブローの夕景	1901
15	浅井忠	グレーの塔	1901
16	浅井忠	農婦	1902
17	浅井忠	男性裸像	1901
18	浅井忠	洋上の夕陽	1902

大きな画面

見る人を圧倒する大きな画面に向き合ってもらい、大画面ならではの表現と迫力を感じてもらうことを目的として開催した。当館所蔵の日本画、洋画、書の各分野から大きな画面の作品を選んで展示した。

会 期 平成27年7月4日(土)～8月16日(日)

開催日数 38日間

会 場 第3展示室

展示点数 9点

No.	作家名	作品名	制作年
1	鶴田吾郎	練習中の大交響楽団 (レニングラードオーケストラ)	1958
2	吉岡堅二	馬	1937
3	櫻井晨正	Carrie	1990
4	近藤直子	グレーの冬	1992
5	中台青陵	杜甫詩飲中八仙歌	1973
6	小野具定	漁村	1975
7	渡辺学	夜明け	1976
8	大森運夫	灯翳・肅宴	1970
9	小宮山俊	沙羅の樹の下	1981

こどものための展覧会

この夏限定！不思議の森美術館

収蔵作品の中から「不思議」を感じることができる作品を展示し、「作品探し」や「ビルダーカードあそび」、「お花紙のインスタレーション作成」、「不思議な文字づくり」等の体験活動を展開した。その成果物を展示するコーナーを設けた。

会 期 平成27年7月4日(土)～8月16日(日)

開催日数 38日間

会 場 第8展示室

展示点数 29点

No.	作家名	作品名	制作年
1	陰形寿朗	構造上の森 (街かも知れない)	1988
2	山本正道	エトルリアの壺	1985
3	星襄一	王の樹	1976
4	星襄一	陽 (林)	1978
5	柴宮忠徳	樹と石	1982
6	遠藤健郎	ケチャックの踊り (パリ)	1998
7	針生鎮郎	王と妃 (あやとり)	1988
8	田中路人	火の馬	1967
9	巖嘸	INSECTS	1975
10	熊谷文利	佳人祈祷師 (入境)	1988
11	熊谷文利	佳境に入る女祈祷師	1978
12	熊谷文利	佳人祈祷師 (カード占い)	1988
13	長谷川昂	花の国の母神	1961

14 利涉重雄	晨への旅	1998	9 ジャック	森の中	1871
15 太田洋三	雨あがりの街	1977	10 トロワイヨン	河辺の道	1860-1865
16 深沢幸雄	憂愁市街(迷路)	1985	11 フォンタネージ	川辺の二頭の牛	1865頃
17 深沢幸雄	街の灯	1998	12 浅井忠	パリ公園	1900-1902
18 深沢幸雄	顔は迷路	1988	13 浅井忠	フォンテンブローの森	1901
19 石井武夫	DUMMY (II)	1976	14 浅井忠	フォンテンブローの夕景	1901
20 田中定一	私の地球	1990	15 浅井忠	グレーの塔	1901
21 畠中陽一	アルミネーション ー光の誘惑ー	1992	16 浅井忠	農婦	1902
22 堀口光彦	安眠装置	1986	17 浅井忠	男性裸像	1901
23 大野虚舟	子供の情景 ー記号探しのパズル	1985			
24 小川瓦木	古代人からのメッセージ8	1997			
25 小川瓦木	古代人からのメッセージ5	1997			
26 池田丈一	ひねくれた正四面体	1981			
27 戸島甲喜	蘇生	1977			
28 木村賢太郎	お餅	1993			
29 木村賢太郎	海の上で夢を見た	1984			

房総と近代美術(第4期)

第1展示室では、「日本画、洋画、彫刻、工芸、版画」のテーマで、各分野の作品を紹介した。

第2展示室では、「浅井忠コーナー」を設け、浅井が影響を受けたミレーなどバルビゾン派の作品と、浅井がヨーロッパ滞在時に制作した作品やスケッチブックなど関係資料を紹介した。

会 期 平成27年8月18日(火)～9月21日(月・祝)

開催日数 31日間

会 場 第1・2展示室

展示点数 第1展示室 19点

第2展示室 17点

【第1展示室】 日本画、洋画、彫刻、工芸、版画

No.	作家名	作品名	制作年
1	石井林響	木華開耶姫	1906
2	石井林響	夜道を駆ける人	不詳
3	東山魁夷	春雪	1973
4	時田直善	望洋	1938
5	若木山	常陸乙女	1948
6	宮之原謙	象嵌磁盛上花蝶鉢	1938
7	津田信夫	北辺夜猫子	1941
8	新海竹太郎	老馬	1921
9	島田勝吾	少女と鳥	1981-1982
10	富田通雄	卓による女	1958
11	古川弘	夏園少年	1949
12	石井柏亭	舞姫	1953
13	石井光楓	タコマ	1925
14	浜口陽三	マントリック・ミュージックII (22のさくらんぼ7枚)	1988
15	行木正義	青の中の棒の遊び	1958
16	行木正義	Paris	1984
17	梅原龍三郎	純子像	1968
18	梅原龍三郎	皇居	1980
19	ルノワール	少女像	1916-1918

【第2展示室】 浅井忠コーナー

No.	作家名	作品名	制作年
1	ルソー	バルビゾンの農場	1850-55頃
2	ミレー	垣根に沿って草を食む羊	1860頃
3	コロー	フォンテンブローの風景	1830-35頃
4	コロー	フォンテンブローの石切場	1835-40頃
5	クールベ	嵐	1865頃
6	ドービニー	ヴァルモンドワの小川	1844
7	ドービニー	オワーズ川のほとり	1865
8	ディアズ	森の中の農婦	1868

新収蔵作品展

平成24年度と25年度に新たに本館の収蔵となった関主税と若木山の日本画、柳敬助と互井開一の洋画、増村益城の工芸作品を紹介した。

会 期 平成27年8月22日(土)～9月21日(月・祝)

開催日数 27日間

会 場 第3展示室

展示点数 11点

No.	作家名	作品名	制作年
1	関 主税	砂丘	1962
2	関 主税	園	1999
3	若木 山	力士	1959
4	若木 山	網曳き	1949-1955
5	柳 敬助	内田邦彦像	1913
6	互井開一	八丈島	1935
7	互井開一	式根島	1935
8	互井開一	海浜(海辺)	1962
9	互井開一	河畔の邑	1966
10	互井開一	野菜と燻せい	1966
11	増村益城	紙胎朱溜葉盤	1987

三人の水彩画家

中西利雄・不破章・小堀進

昭和の水彩画史に確固たる足跡を残した三人の水彩画家に焦点をあて、それぞれの作品の魅力を紹介した。

会 期 平成27年8月22日(土)～9月21日(月・祝)

開催日数 27日間

会 場 第8展示室

展示点数 33点

No.	作家名	作品名	制作年
1	中西利雄	トリエール・シュール・セーヌ	1930
2	中西利雄	南仏風景	1930
3	中西利雄	人物	1936
4	中西利雄	四人の女	1939
5	中西利雄	曇り日の離宮と駅	1947
6	中西利雄	帽子をかぶった女	1935
7	中西利雄	T嬢	1935
8	不破章	描くO君	1942
9	不破章	裁縫女	1943
10	不破章	二女	1953
11	不破章	三人姉妹	1956
12	不破章	浴衣	1960
13	不破章	ハンブルグ	1963
14	不破章	ノルマンジーのホテル	1965
15	不破章	バンコクの水辺市	1966
16	不破章	台湾農村風景	1970
17	不破章	白い砂	1967
18	不破章	奥鬼怒の湯治場	1976

19	不破章	麗日新宿御苑	1977
20	不破章	台湾の農家	1978
21	小堀進	風の日の海辺	1935
22	小堀進	冬晴の果樹園	1936
23	小堀進	太平洋の漁村	1941
24	小堀進	海(白浜)	1954
25	小堀進	レマン湖畔	1962
26	小堀進	南欧の丘	1962
27	小堀進	セーヌ川	1963
28	小堀進	ロンドンの朝	1964
29	小堀進	山	1965
30	小堀進	霞ヶ浦	1973
31	小堀進	花と海	1974
32	小堀進	逆光	1974
33	小堀進	大穹	1974

房総と近代美術(第5期)

第1展示室では、「日本画、彫刻、工芸、書」のテーマで、各分野の作品を紹介した。

第2展示室では、「浅井忠コーナー」を設け、浅井の京都時代の作品と、教え子たちの作品を紹介した。

なお、第1展示室は会期を前期(1月23日～2月14日)と後期(2月16日～3月6日)に分けて開催した。

会場 第1・2展示室

会期 平成27年1月23日(土)～3月6日(日)

開催日数 38日間

展示点数 第1展示室 前期：14点 後期：21点

第2展示室 22点

【第1展示室】 日本画、彫刻、工芸、書			
No.	作家名	作品名	制作年
1	石井林響	桃源	1913
2	東山魁夷	春雪	1973
3	関主税	園	1999
4	酒井亜人	樹	1955
5	宮之原謙	象嵌磁サボテン壺	1970
*6	宮之原謙	象嵌十字星結晶花挿	1932
*7	河村蜻山	初黒茶碗	1938-46頃
8	増村益城	乾漆波文溜塗盛器	1965
9	毛利教武	手	1919
#10	高村光太郎	手	1918
11	小暮青風	無何有	1993
12	浅見錦龍	いろは	1999
13	鈴木方鶴	一笑千山青	1984
14	種谷扇舟	石原八束の句	1989
15	千代倉桜舟	ヘリオトロープの花は…	1949
#16	石井雙石	林鳥相忘不避人	1951
#17	石井雙石	午睡・故人今人如流水	1954
#18	石井雙石	一笑百印	1946
#19	石井雙石	一笑百印	1947
#20	石井雙石	一笑百印由来	1947
#21	石井雙石	遊魚出水帰燕受風	1957
#22	石井雙石	木兄馬	1954
#23	石井雙石	水廣魚游	1949
24	梅原龍三郎	純子像	1968
25	梅原龍三郎	皇居	1980
26	ルノワール	少女像	1916-1918

*印は前期のみ展示、#印は後期のみ展示。

【第2展示室】 浅井忠コーナー

No.	作家名	作品名	制作年
1	浅井忠	中沢岩太像	1903
2	浅井忠	京都高等工芸学校の庭	1903

3	浅井忠	婦人像	1907
4	浅井忠	老母像	1906
5	浅井忠	東宮御所壁飾草稿(1)	1905
6	都鳥英喜	洛北の早春	1934
7	間部時雄	寒林	不詳
8	長谷川良雄	晩秋	1909
9	長谷川良雄	高等工芸学校西裏通り	1907
10	霜鳥之彦	ロシアの女	1923
11	安井曾太郎	熱海附近	1929
12	梅原龍三郎	伊豆大仁風景	1929
13	黒田重太郎	女と小犬	1928
14	澤部清五郎	ハドソン河の朝靄	1912
15	榊原一広	南仏風景	1923
16	田中志奈子	デッサン(裸婦)	1906
17	田中善之助	聖護院の裏	1907
18	国松桂溪	仏国トルドンヌ	1923頃
19	中林儼	けしの花	不詳
20	芝千秋	深草村	1909
21	西川純	保津峡	不詳
22	小川千麿	港	不詳

版画—メゾチントの魅力

版面に無数の傷を付け印影表現することで、ほんのりと照らし出されたような画面を特徴とする、メゾチントの技法で制作された作品を紹介した。

会期 平成28年1月23日(土)～3月6日(日)

開催日数 38日間

会場 第3展示室

展示点数 26点

No.	作家名	作品名	制作年
1	浜口陽三	レダ	1951
2	浜口陽三	西瓜	1955
3	浜口陽三	うさぎ	1955
4	浜口陽三	したびらめ	1956
5	浜口陽三	パリの屋根	1956
6	浜口陽三	ういきょう	1958
7	浜口陽三	びんとくるみ	1959
8	浜口陽三	ピーマンのある静物	1955
9	浜口陽三	赤い鉢と黒いさくらんぼ	1966
10	浜口陽三	1/4のレモン	1976
11	浜口陽三	3匹の蝶(7枚組)	1985
12	浜口陽三	緑のポップラ	1985-1989
13	深沢幸雄	憂愁市街(迷路)	1985
14	深沢幸雄	輪舞	1992
15	深沢幸雄	いたづら天使	1992
16	深沢幸雄	白い抒情の人	1992
17	深沢幸雄	灯がともる街	1993
18	深沢幸雄	青い壘の形	2001
19	深沢幸雄	青い衝動	2004
20	生田宏司	朝摘みの花だいこん	1996
21	生田宏司	花園	1999
22	生田宏司	桜	1995
23	生田宏司	静寂の間	1995
24	生田宏司	しろつめ草	1997
25	生田宏司	金魚鉢・もう一つの金魚鉢	1991-1992
26	生田宏司	風	1999

バルビゾン派とフォンタネージ

自然とそこに生きる人々を主題にしたミレーなどバルビゾン派と呼ばれる画家たちの作品と、その影響を受けたフォンタネージの作品を紹介した。

会 期 平成28年1月23日(土)～3月6日(日)

開催日数 38日間

会 場 第3展示室

展示点数 27点

No.	作家名	作品名	制作年
1	カミーユ・コロー	フォンテンブローの風景	1830-1835
2	カミーユ・コロー	フォンテンブローの石切場	1835-1840
3	カミーユ・コロー	ナポリ近郊の思い出	1860-1865
4	シャルル・フランソワ・ドービニー	ヴァルモンドワの小川	1847
5	シャルル・フランソワ・ドービニー	オワーズ川のほとり	1865
6	テオドール・ルソー	バルピソンの農場	1850-1855
7	ジャン・フランソワ・ミレー	垣根に沿って草を食む羊	1860頃
8	ジュール・デュブレ	森のはずれ	1860代
9	ジュール・デュブレ	嵐の前	不詳
10	コンスタン・トロワイヨン	河辺の道	1860-1865
11	シャルル・エミール・ジャック	森の中	1871
12	ナルシス・ヴィルジール・ディアズ	森の中の農婦	1868
13	ギュスターヴ・クールベ	雪の中の小鹿	1869
14	ギュスターヴ・クールベ	嵐	1865頃
15	フランソワ・オーギュスト・ラヴィエ	モレステル風景	1867-1895
16	フランソワ・オーギュスト・ラヴィエ	モレステル風景(沼)	1867-1895
17	フランソワ・オーギュスト・ラヴィエ	川辺	不詳
18	フランソワ・オーギュスト・ラヴィエ	たそがれ	1885
19	アントニオ・フォンタネージ	風景1	不詳
20	アントニオ・フォンタネージ	風景2	不詳
21	アントニオ・フォンタネージ	川辺の二頭の牛	1865頃
22	アントニオ・フォンタネージ	牛を追う農婦	1862頃
23	アントニオ・フォンタネージ	木立	1863頃
24	アントニオ・フォンタネージ	十月、牧場の夕べ	1860
25	アントニオ・フォンタネージ	水汲み場風景	1863頃
26	アントニオ・フォンタネージ	羊飼いの少女	不詳
27	浅井忠	藁屋根	1887頃

作品の中の金と銀

時代やジャンルを問わず、美術作品に多用された金と銀の魅力を紹介することを目的とした。

近代になってから表れた金、銀を使った多彩な手法を用いた新たな表現への挑戦を紹介した。

会 期 平成28年3月12日(土)～4月17日(日)

開催日数 32日間

会 場 第3展示室

展示点数 22点

No.	作家名	作品名	制作年
1	後藤純男	山門雨後	1974
2	小幡春生	千手観音(二十八部像)	1970頃
3	小幡春生	龍上観音	不詳
4	渡辺学	下総の海女	1982
5	吉岡堅二	濤	1939
6	富取風堂	群魚	1967

7	大森運夫	時空往還	1983
8	石井林響	浦島太郎図	不詳
9	石井林響	漁樵	1913
10	星襄一	王の樹	1976
11	永瀬義郎	祈り	1960
12	香取正彦	臙銀玉錯花瓶	1977
13	香取正彦	金銅童形聖徳太子像	1969
14	津田信夫	海	1927
15	信田洋	九曜盤	1974
16	鹿島一谷	布目象嵌 白鷺四態図 銀水注	1996頃
17	帖佐美行	香奘と想鳥(集いの為の酒器セット)	1983
18	大須賀喬	蝶文黒銅香炉	1983
19	秋山逸生	對 縞黒檀筆筒	1978
20	藤田喬平	飾筥・琳派	1975頃
21	猪俣伊治郎	オトタチバナ	2001
22	藤野天光	希望	不詳

春

桜や牡丹などの題材を中心として、早春から晩春までの各地の風景、様々な春模様を描いた、日本画・洋画・工芸・版画の作品を紹介した。

会 期 平成28年3月12日(土)～4月17日(日)

開催日数 32日間

会 場 第8展示室

展示点数 30点

No.	作家名	作品名	制作年
1	黒沢吉蔵	遙か安達太良	2005
2	吉田登毅	玉堂富貴	不詳
3	石井林響	櫻	不詳
4	富取風堂	八重桜	不詳
5	横尾芳月	春風	1986
6	浦田正夫	外房早春	1935頃
7	若木 山	山峡の春	1967
8	松尾敏男	晨光富貴	不詳
9	渡辺阿以湖	牡丹	1986
10	都鳥英喜	洛北の早春	1934
11	松村三冬	北信濃早春	1973
12	櫻田久美	海の見える花畑	1992
13	山倉克己	田園春めく	1999
14	三宅策郎	両神山遠望	2000
15	櫻田精一	古都催春	1986
16	澤部清五郎	桜	不詳
17	石井柏亭	舞姫	1953
18	田坂ゆたか	ヴァンスの春	1976
19	生田宏司	桜	1995
20	小川イチ	春のおわり	1991
21	石井柏亭	晩春行楽図	1938
22	椿 貞雄	牡丹	1920
23	鈴木信太郎	牡丹	不詳
24	秋元松子	静物	1981
25	鳩川誠一	花	1965
26	藤田喬平	飾筥・しだれ櫻	1985
27	藤田喬平	流動・牡丹	1967
28	石井康治	彩花文器	1995
29	神谷紀雄	鉄絵銅彩椿紋壺	1987
30	山室百世	鑄銅萌ゆる力置物	1940

彫刻

素材を切り口として彫刻作品を鑑賞する展示とした。同じ形でも素材の違いにより、受ける印象が全く異なることを感じることができるコーナーを設けた。

会 期 平成28年2月16日(火)～4月17日(日)
 開催日数 44日間
 会 場 第7展示室
 展示点数 15点

No.	作家名	作品名	制作年
1	郡司和男	詩人の肖像 (石膏)	1976
2	郡司和男	詩人の肖像 (ブロンズ)	1976
3	綿引司郎	遙	1970
4	安西順一	秋晴	1948
5	長谷川昂	安息	1966
6	伴正史	人「無言」	1997
7	池田丈一	ひねくれた正12面体	1987
8	鈴木啓子	FEELING-69	1969
9	澤田志功	森は観つめる	1995
10	工藤健	愁いのマンドーラ	1991
11	梅原正夫	なかよし	1985
12	関正司	IRON LADY	1982
13	木村賢太郎	トルソー	1990
14	山崎英五	地を這うものどもⅧ	1978
15	安田侃	天泉 (マケット)	1933

2 特別展

千葉県文化財保護条例制定60周年記念 香取神宮一神に奉げた美

関東を代表する古社・香取神宮は、古来から鹿島神宮と並び「神宮」の社号をもつ東国の守護神として、広く信仰を集めてきた。本展では、時代を超えて受け継がれてきた国宝や重要文化財、県指定文化財のほか、近代美術の数々を一堂に展示した。また、千葉県文化財保護条例60周年を記念し、文化財保護に関する県民の理解と関心を深め、後世に伝える大切さを再認識する機会とした。

会 期 平成27年11月17日(火)～1月17日(日)

開催日数 48日間

会 場 第1・2・3・7・8展示室

展示点数 171点 (111件)

入場者数 8,541名

主 催 千葉県立美術館

特別協力 香取神宮

協 力 國學院大學、株式会社長南文化財修復室

関連事業 ギャラリートーク

11月28日(土) 13:30～ 25名

12月12日(土) 13:30～ 25名

12月26日(土) 13:30～ 25名

1月9日(土) 13:30～ 20名

※ギャラリートーク以外は事業ごとに普及事業「特別展開連事業」に別記

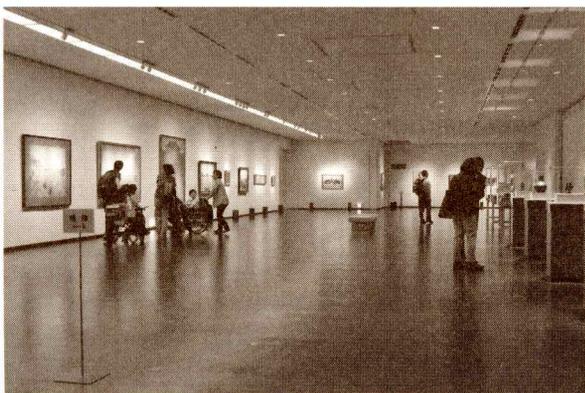
出品作品

第1部 香取神宮の歴史と信仰

No.	文化財種別	資料名	所蔵者
1		日本書紀 巻第2	県立中央図書館
2		続日本紀 33・34巻	県立中央図書館
3		延喜式 15巻	県立中央図書館
4		延喜式 30巻	県立中央図書館
5		香取神宮境内社古絵図	個人
6	県指定	香取分飯司家文書	個人
7	県指定	香取神宮文書	香取神宮
8	重文	香取大瀬宜家文書2, 5, 8巻	個人
9	県指定	吉原三王遺跡出土墨書土器	千葉県教育委員会
10		神田台遺跡出土墨書土器	千葉県教育委員会
11		利根川図志 (五)	県立中央博物館
12		総州真景図藁	県立中央博物館
13		香取志	県立中央博物館
14		成田香取鹿島息栖細見絵図	県立中央博物館
15		香取参詣記	成田山仏教図書館
16		官幣大社香取神宮境内全図	個人
17		香取神宮本殿棟札	香取神宮

第2部 《香取神宮神幸祭絵巻》の美

No.	文化財種別	資料名	所蔵者
18		香取神宮神幸祭絵巻 (國學院大學本)	國學院大學
19		香取神宮神幸祭絵巻 (権檢非違使家本)	個人
20		香取神宮神幸祭絵巻 (大瀬宜家本)	個人
21		香取明神祭礼絵巻 (日本民芸館本)	日本民芸館
22		香取神宮神幸祭絵巻 (成田山仏教図書館本)	成田山仏教図書館
23		香取神宮神幸祭絵巻 (多田家本)	香取神宮
24		香取神宮神幸軍神祭御船遊之図	県立関宿城博物館
25		香取神宮神幸軍神祭図	県立中央博物館
26		香取神宮神幸軍神祭行列之図	個人
27		神幸祭御再興願之大事件	成田山仏教図書館
28		香取神宮神幸祭絵ハガキ	県立関宿城博物館



アート・コレクション「房総と近代美術」展示風景 (第1展示室)

3 千葉県移動美術館

第39回千葉県移動美術館～高村光太郎と房総の海～

本年度の移動美術館では、高村光太郎の彫刻作品6点を中心として、日本画家若木山の海女を描いた作品や、様々な作家による勝浦周辺の海をモチーフとした作品を展示した。

開催場所 勝浦市

会 期 平成27年8月18日（火）～8月31日（月）

開催日数 14日間

会 場 勝浦市芸術文化交流センター・キュステホール

展示点数 20点

入場者数 759名

関連事業 ギャラリートーク

8月23日（日）11:00～・14:00～ 34名

8月30日（日）11:00～・14:00～ 39名

ワークショップ 岩絵の具で日本画体験

8月29日（土）13:00～15:00 15名

出品作品

No.	作家名	作品名	制作年
1	川瀬巴水	房州太海	1925
2	富田通雄	外房鶴原	1964頃
3	中西利雄	外房風景	1936
4	小堀進	真夏の海（太海）	1931
5	遠藤健郎	房総線ディーゼル・カーの乗客たち	1997
6	大久保作次郎	凧	1955
7	若木山	海女	1952
8	若木山	波上海女図	1953
9	若木山	潜	1966
10	若木山	わだつみ	1968
11	浅井忠	漁婦	1897
12	前嶋実	九十九里初夏	1988
13	東山魁夷	濤声	1994
14	鷹山宇一	波濤の歌	1961
15	高村光太郎	猪	1905
16	高村光太郎	裸婦座像	1916頃
17	高村光太郎	十和田裸婦像のための「手」	1952
18	高村光太郎	十和田裸婦像のための中型試作	1953
19	高村光太郎	手	1918
20	高村光太郎	薄命児男子頭部	1905



第39回千葉県移動美術館展示風景

■ 普及事業 ■

Education & Promotion

1 特別展関連事業

(1) 美術講演会等

美術講演会①

「香取の神への信仰と祭り—古代・中世を中心に—」

香取神宮の神様とは、いかなる性格なのか、祭りにはどのような特徴があるのか。文献や考古学資料から、仏教との関係も視野に入れて、古代・中世を中心に探った。その中で、華麗な祭礼の様子を描いた「香取神宮神幸祭絵巻」の歴史的な背景や見どころも紹介し、香取神宮の古代以来の歴史、信仰、祭りについて理解を深める講演内容であった。

会場 千葉県立美術館講堂

日時 平成27年12月19日（土）13:30～15:00

講師 國學院大學教授 笹生 衛氏

対象 一般

参加者数 207名



美術講演会①

美術講演会②

「香取神宮伝来、国宝・海獣葡萄鏡の魅力と謎」

香取神宮に古くから伝来する国宝、《海獣葡萄鏡》と同型鏡の奈良の正倉院南倉九号鏡との鏡式構成の比較や、製作技法、海獣葡萄鏡のモチーフの意味を探りながら、その魅力を紹介した。

会場 千葉県立美術館講堂

日時 平成28年1月16日（土）13:30～15:00

講師 奈良国立博物館 列品室長 吉澤 悟氏

対象 一般

参加者数 180名



美術講演会②

香取神宮ゆかりの演武

県指定無形文化財「天真正伝香取神道流」

室町中期、下総国香取の飯篠長威斎家直を流祖とする香取神道流は、日本武道の源流といわれる。その剣術、居合術、棒術、薙刀術、槍術、手裏剣、柔術などの形を実演した。

会場 千葉県立美術館第7展示室

日時 平成27年11月22日（日）13:30～

講師 天真正伝香取神道流師範 大竹 信利氏ほか

対象 一般

参加者数 150名

(2) KATORI special days—もっと香取が好きになる—

特別展関連事業として、香取神宮が鎮座する香取市を広く紹介し、地域との連携を図るとともに、展覧会への理解と関心を高める一助とする。

日時 平成27年12月19日（土）、20日（日）

11:00～15:00

協力 香取市商工観光課、香取市教育委員会生涯学習課、伊能忠敬記念館、一般社団法人水郷佐原観光協会、佐原おかみさん会、清里ファーム、株式会社飯田本家、東薫酒造株式会社、株式会社馬場本店酒造、株式会社イシクラフト、佐原張子三浦屋、香取神宮、香取雅楽会、佐原囃子保存会、株式会社エール・クリエート

参加者数 1,090名

(ア) 県美マルシェ—Made in KATORI

a 香取の特産品が大集合！

〔千葉ポートタワー側出入口、第6展示室〕

b 香取の蔵元が勢揃い！〔第6展示室〕

東薫酒造（12月19日、20日）、馬場本店酒造（12月19日）、飯田本家（12月20日）

c 伝統と技の工芸品〔第6展示室〕

佐原張子、佐原ラフィア

(イ) ミニコンサート〔第7展示室〕

a 雅楽

演奏日時 平成27年12月19日（土）

①11:00 ②13:00

演奏 香取雅楽会

演奏 管絃（平調音取、五常楽急、陪臚）

b 佐原囃子

演奏日時 平成27年12月20日（日）

①11:30 ②13:30

演奏 和楽会（佐原囃子保存会）

演奏 ①役物（砂切、馬鹿囃子、花三番叟）、端物（真行寺、津島、おやまか、あんば、大漁節、松飾り、船頭小唄、吉野、

2 ワークショップ

主に子供を対象とした創作体験を通して、豊かな芸術的表現力と他者と協調する心を育み、美術や美術館を身近に感じる人材を育成するため、以下のワークショップを開催した。

第1回ワークショップ

「たのしい日本画教室」

当館学習キット「日本画素材ボックス」を用いた、絵の具の原料になる顔料と膠で日本画絵の具の作成・描画体験。日本画用絵筆で、和紙で練習用の下描きをした後、色紙に自由に描画をした。顔料となる鉱物は、孔雀石(緑)、藍銅鉱(青)、ジャスパー(赤)、ピクチャーストーン(白)の4種類を使用した。ワークショップで使用した孔雀石はプレゼントし、ふりかえりができるようにした。

日時 平成27年5月16日(土) 13:00～15:00

会場 第二アトリエ

対象 小学生

参加者数 33名

第2回ワークショップ

「小さなアニメーションを作ろう！」

人間の視覚の仕組みを応用したアニメーションの一つ「フェナキスティスコープ」の制作。円盤を回転させ描いた絵が動く様子を鏡で見、また、iPadアプリ「iMotion」を用いて撮影を行った。完成した作品は研修室のスクリーンで上映し、合評会を行った。アニメーションの原理を知るとともに、作品について、初めて出会った他の参加者たちに紹介する機会を設け、言語活動の充実を図った。

日時 平成27年6月20日(土) 13:00～15:00

会場 第2アトリエ・研修室

対象 小学生

参加者数 27名

第3回ワークショップ

「この夏限定！不思議の森美術館関連ワークショップ」

アート・コレクション展「この夏限定！不思議の森美術館」に関連付けたワークショップ。展示会を鑑賞し、展示室で着てみたい冒険服を発想する。展示室でみつけた不思議な色・形をワークシートに描き入れ、アトリエで、白段ボールで作った型紙にカラーの段ボールとお花紙を貼り付けて作品を制作する。自分で作った作品を、着用する楽しみを味わうワークショップ。

日時 平成27年8月1日(土) 13:00～15:00

会場 千葉県立美術館第二アトリエ

対象 小学生

参加者数 28名

第4回ワークショップ

「いろいろ作ろう！美術館の縁日だよ！」

①プラスチックストラップを作ろう！、②なりきりなりきり仮面、③カンバッジを作ろう！、④ビルダーカード、⑤まどべの水族館の5ブースを縁日形式でまわり、制作を行うワークショップ。5つのブースすべてをまわったら、スタンプをもらう。短時間で、複数の素材に親しみ、個人制作と共同制作の双方を学ぶことができるワークショップとした。

日時 平成27年8月22日(土) 13:00～15:00

会場 第7展示室

対象 小学生

参加者数 46名

第5回ワークショップ

「オリジナルモノレールを作ろう！」

千葉都市モノレールの新型車両アーバンフライヤーの約20分の1の紙模型を組み立てて、カッティングシート、色画用紙、色ダンボールを使って、色をつけたり部品を取り付けて、オリジナルのモノレールに仕上げる。千葉駅長と一緒に記念撮影を行った。制作した作品は、千葉都市モノレール千葉駅改札内に吊って展示をした。

日時 平成27年9月26日(土) 13:00～15:00

場所 千葉都市モノレール千葉駅

対象 小学生親子

参加者数 46名(23組)

展示期間 9月26日～10月12日



ワークショップ たのしい日本画教室

3 実技講座

陶芸講座（基礎）

陶芸初心者を対象に、4kgの信楽粘土を使用しマグカップ（板づくり）、茶碗、花器（紐づくり）の3種を制作する講座。成形、削り、釉掛けの工程を経験し、陶芸についての基礎的な知識や技法を身に付け、楽しさを味わうことができた。

期 日 平成27年6月3日（水）、6月4日（木）、6月5日（金）、6月11日（木）、6月25日（木）、6月16日（木）

時 間 12:30～16:00

会 場 第2アトリエ

講 師 鈴木久美子氏

受講者数 13名

陶芸講座（応用）

陶芸経験者を対象に、5kgの信楽粘土を使用して自由度の高い作陶に挑戦する講座。焼成は房総のむらの登り窯で行い受講者の多くが見学。特有の仕上がりの違いを感じ取り、互いの技法を学び合って、陶芸の奥深さを感じ取ることができた。

期 日 平成27年12月2日（水）、12月3日（木）、12月4日（木）、12月9日（水）、12月10日（木）、平成28年2月4日（木）、3月3日（木）

時 間 12:30～16:00

会 場 房総のむら 瀬戸物の店

講 師 鈴木久美子氏

受講者数 16名

ホリデーアート コラグラフ

葉や、レース、布テープ、寒冷紗など身近な素材を版上に構成してアルミ製版を作成し、インクを詰めて拭き取り、プレス機で刷り取るコラグラフという技法を学んだ。グラデーションなどインクの色によって雰囲気が変わる版画の醍醐味を短時間で楽しむことができた。

期 日 平成27年7月18日（土）、25日（土）

時 間 12:30～16:00

会 場 第2アトリエ

講 師 上田靖之氏

受講者数 18名

篆刻講座

名前の中の文字などから一文字の陰刻・陽刻と、二文字の陰刻・陽刻をつくることを通して篆刻の歴史などの基礎的な知識や道具の扱いについて学んだ。静かな雰囲気の中で個別指導を受けながら制作を楽しんだ。

期 日 平成27年8月18日（火）、8月21日（金）、8月25日（火）、8月28日（金）

時 間 12:30～16:00

会 場 第2アトリエ

講 師 那須大卿氏

受講者数 26名

金工講座

初心者から経験者を対象に、あて金、しめ錠など道具の扱いと基礎的な鍛金技法を身に付け、銅板を立体的な器にする面白さを学んだ。日常に使用できる器を7日間で丁寧に仕上げることができた。

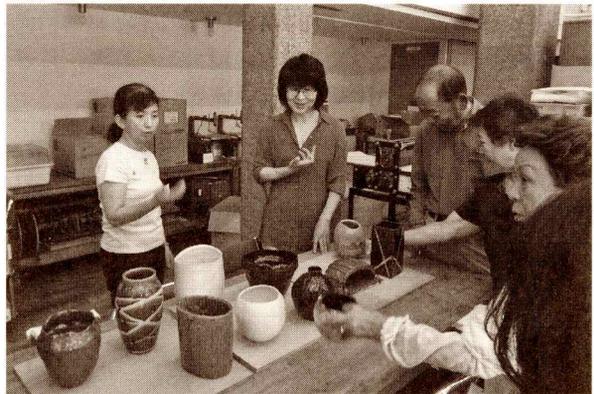
期 日 平成27年11月3日（火）、11月5日（木）、11月10日（火）、11月12日（木）、11月17日（火）、11月19日（木）、11月25日（水）

時 間 12:30～16:00

会 場 第2アトリエ

講 師 平山記通氏

受講者数 15名



陶芸講座（基礎） 講習会



ホリデーアート コラグラフ

4 博学連携事業

貸出用学習キット

県内の学校等に当館所有の下記の学習キットを学習支援キットとして貸し出しを行った。

(1) 日本画素材BOX

中学校1件 高校1件 教員研修1件

(2) 複製画

中学校1件 大学1件

(3) バーチャルミュージアム（アートカード含む）

中学校1件・大学2件

(4) ビルダーカード

小学校1件・中学校3件・難聴児支援1件・社会教育施設等2件

出張授業

当館の職員が学校等に出向き、先生方と協力して授業を行った。

(1) 日本画素材BOXを使用したプログラム

小学校1件・中学校4件

(2) ビルダーカードを使用したプログラム

小学校8件・近隣施設1件・教員研修1件

(3) 複製画を使用したプログラム

中学校2件



ビルダーカード 小学校での実践

当館での実演

来館した学校団体等に当館の学習キットを用いた教育活動を展開した。

(1) 日本画素材BOX

中学校1件・中学校2件・高校3件・社会教育施設1件・教員研修1件

(2) ビルダーカード

小学校1件・中学校2件・教員研修1件

(3) バーチャルミュージアム（アートカード含む）

中学校2件・高校1件・大学1件

(4) 複製画

高校1件

日本画素材BOXの需要が高まっている。展示と連動した造形活動として館内でも使用することも多かった。教員研修で紹介したところ、興味を持っていただき、題材の中に組み込んで出張授業で使う例もあった。小学生から大人まで、幅広い層で利用できる。ビルダーカードは全身をつかって大人数で活動できるのが魅力で、貸出、出張授業ともに件数が多かった。県の造形教育研究会の授業でも使っていた。

幕張総合高校美術館講座

学芸員体験のできる専門性の高いキャリア教育の講座として、バックヤードツアー、ワークショップ支援の体験、展示に関する講義、複製画による展示作成、ギャラリートークなどを展開。7日間で1単位の取得ができる講座として、休館期間を経て2年ぶりに開催。

期 日 平成27年5月30日（土）、6月13日（土）、6月20日（土）、7月11日（土）、7月18日（土）、7月25日（土）、7月26日（日）

参加者数 2名 ギャラリートーク参加者は96名

高校生インターンシップ

県内各地の高校生が集まり、日程を合わせて行う県のインターンシップと、千葉聖心高校が独自に行っているものとの2つを開催。バックヤードツアー、展示鑑賞、学習キット体験、作品研究、ギャラリートーク、広報物封入などを行った。

県インターンシップ

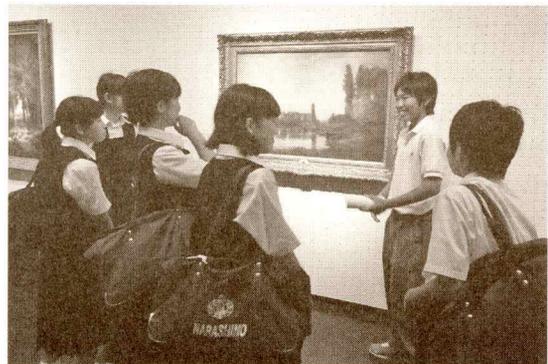
期 日 平成27年7月21日（火）～23日（木）

参加者数 5校6名

千葉聖心高校インターンシップ

期 日 平成27年10月27日（火）～29日（木）

参加者数 2名



インターンシップでのギャラリー・トーク

部活動・クラブ向けの取り組み

ワークショップ

「等身大から始めよう～つなげる・つながる～」の実施
千葉大学普遍教育科目「アートをつくる」（加藤修教授）

と連携し、大学生がリーダーとなって県内中学校美術部を対象としたワークショップを開催した。

場 所 第7展示室前芝生広場
日 時 平成27年10月24日（土）10:00～15:00
参 加 校 浦安市立浦安中学校、市川市立第六中学校、八街市立八街中学校
参加者数 28名



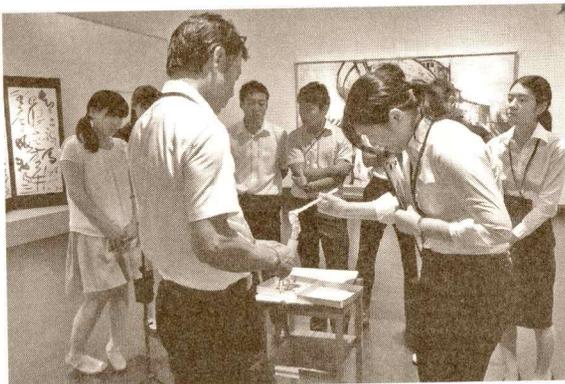
ワークショップ 等身大から始めよう

博物館実習

博物館課程を履修している学芸員志望学生に対して、博物館実習を行った。夏休み期間中の子どものための展覧会にちなんだ「ワークショップ」準備や運営補助、「資料の扱い方」、「作品調査」、「資料写真撮影方法」、展示作品の「ガイダンス」など多岐にわたる内容で実施した。

期 日 平成27年7月30日（木）～8月5日（水）
うち8月3日（月）は休業 6日間

参加者数 3名（千葉大学、昭和女子大学、成城大学）



博物館実習風景

以上の各事業のほか、主に夏季に来館して展示鑑賞し、造形体験を行う中学校、高校美術部、大学があった。

5 地域連携事業

成田アート博覧会

成田山参道の仲町商店街において、成田市立成田中学校、成田市立成田小学校、成田市立美郷台小学校、成田市観光協会、仲之町町づくり協議会との共催で「成田アート博覧会」を実施した。

「私たちの成田と日本」というテーマで、小中学生が授業や部活動で制作した書道と美術の作品を用いて街角美術館を開催。会場は仲町商店街の店舗と成田市観光館で、メイン会場の成田市観光館の展示作業は当館職員が成田市立成田中学校美術部の生徒に展示方法をレクチャーしながら実施した。

会 場 成田山表参道仲町商店街各店舗28店
成田観光館3階展示室

会 期 平成27年11月14日（土）～11月29日（日）

出品作品 70点

他施設との連携事業

船橋市丸山公民館との連携講座

船橋市丸山公民館の主催する講座において二日間にわたり美術館講座を実施した。

1日目 講義「美術館の現状」

特別展「香取神宮展」鑑賞

（当館職員による絵巻・鏡についての展示解説）

2日目 バックヤードツアー

日本画学習BOXを用いた岩絵の具づくり体験

（絵巻を模した下絵に着色）

会 場 千葉県立美術館

期 日 平成28年1月14日（木）・15日（金）

時 間 13:30～16:00

参加者数 24名



連携講座における展示解説

6 活動協力など

友の会

(1) 目的

“みる・かたる・つくる”という美術館活動に積極的に協力し、楽しい雰囲気の中で教養を豊かにし、美術文化の向上を図り、会員相互の親睦を深める。

(2) 組織

会員数 個人会員330名

役員 会長1名、副会長2名、監事2名

理事 若干名

(3) 事業

①友の会だより「しおさい」の発行

年4回各350部印刷し、会員に配布した。

②第40回葉美会展の開催

会場 第4展示室

会期 平成27年10月20日(火)～10月25日(日)

出品者 50名

展示点数 82点

合評会 10月25日(日)第4展示室

③集う会

会場 研修室

日時 平成27年10月22日(木)13:30～

内容 講演会「パリの浅井忠」

講師 県立美術館主任上席研究員 中松れい

参加人数 24名

④秋の美術館賞の旅

東京都台東区の東京都美術館及び千代田区の三菱一号館美術館を巡った。

会場 東京都美術館「モネ展」

三菱一号館美術館「プラド美術館展」

期日 平成27年10月29日(木)

参加者数 26名

⑤館事業への協力

ミュージアムグッズの販売、実技講座の開催等、県民アトリエ事業に積極的に参加した。

⑥その他

絵葉書、図書、特別展関連商品の販売(図録、絵葉書、絵馬、お守り)

(4) 平成27年度友の会実技講座

再開館に伴い会場を県立美術館に戻して開催された。

①洋画講座1

期日 平成27年5月12日(火)～14日(木)、19日(火)～21日(木)

講師 竹久秀樹

受講者数 33名

②水彩画講座1

期日 平成27年6月3日(水)～5日(金)、10日(水)～12日(金)

講師 青柳光枝

受講者数 30名

③洋画講座2

期日 平成27年6月16日(火)、18日(木)、24日(水)、25日(木)、28日(日)、30日(火)

講師 田辺知治

受講者数 30名

④洋画講座3

期日 平成27年7月7日(火)～10日(木)、14日(火)～16日(木)

講師 竹久秀樹

受講者数 31名

⑤洋画講座4

期日 平成27年8月19日(水)～21日(金)、26日(水)～28日(金)

講師 羽生秀樹

受講者数 34名

⑥水彩画講座2

期日 平成27年10月7日(水)～9日(金)

講師 青柳光枝

受講者数 30名

⑦洋画講座5

期日 平成27年11月4日(水)～6日(金)、10日(火)～12日(木)

講師 濱田 清

受講者数 30名

⑧洋画講座6

期日 平成27年11月15日(日)、17日(火)、19日(木)、25日(水)、26日(木)、29日(日)

講師 田辺知治

受講者数 30名

⑨洋画講座7

期日 平成27年12月2日(水)～4日(金)、9日(水)～11日(金)

講師 羽生智樹

受講者数 31名

⑩洋画講座8

期日 平成28年1月14日(木)、19日(火)～21日(木)

講師 竹久秀樹

受講者数 32名

⑪洋画講座9

期日 平成28年2月18日(木)、19日(金)、23日(火)～26日(金)

講師 濱田 清

受講者数 34名

⑫日本画講座

期日 平成28年3月3日(木)～5日(土)、8日(火)～10日(木)

講師 中村寛治

受講者数 11名

ボランティア

美術館の活動をより円滑で充実したものとするためにボランティアを募集し、年間を通して活動した。活動内容は、ワークショップの補助と、情報資料室運営である。

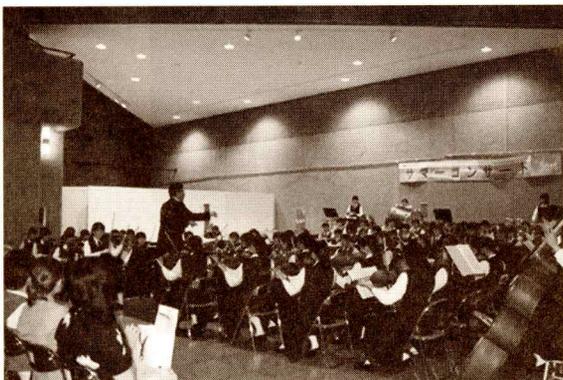
ワークショップは登録者数18名で活動した。美術館職員に協力して、その準備と予行演習、内容の検討、当日の実技指導と運営などにあたった。

また、情報資料室運営は、情報資料室での資料整理作業及び利用者に対するレファレンスサービスなどにあたったもので、最終的に登録者数24名で活動した。

高校生によるサマーコンサート2015

日 時 平成27年 8月29日 14:00～・15:00～
 会 場 第7展示室
 演 奏 千葉県立千葉女子高等学校オーケストラ部
 曲 目 (第1部)
 交響曲7番「未完成」第1楽章／F. シューベルト
 イタリア奇想曲／P. I. チャイコフスキー
 G線上のアリア／J. S. バッハ
 となりのトトロ／久石譲
 ウェストサイドストーリーメドレー／L. バーンスタイン
 花は咲く／菅野よう子
 (第2部)
 交響曲7番「未完成」第1楽章／F. シューベルト
 イタリア奇想曲／P. I. チャイコフスキー
 主よ、人の望みの喜びよ／J. S. バッハ
 となりのトトロ／久石譲
 ウェストサイドストーリーメドレー／L. バーンスタイン
 花は咲く／菅野よう子

参加者数 187名



高校生によるサマーコンサート

7 情報資料室

概 要

情報資料室は、美術館への理解と関心を高め、美術振興に資することを目的に昭和55年9月に開室した。

一般向けの美術図書や美術雑誌、展覧会図録などの図書資料を来館者の閲覧に供している。さらに、図書資料以外にも、情報資料室前のロビー等にポスター、チラシ、案内状を掲出し、各地の展覧会やイベント、講座等の美術に関する情報を提供している。

なお、平成27年度は23冊の寄贈を受け、収蔵図書数は6,611冊となった。

施 設

面 積 172.77㎡
 席 数 8席
 開室時間 13:00～16:00
 休 室 日 休館日、その他の臨時休館日

蔵書冊数

	平成26年度 収蔵図書	平成27年度 受贈図書	合 計
総記	3,098 冊	10 冊	3,108 冊
絵画	2,057 冊	6 冊	2,063 冊
彫刻	312 冊	1 冊	313 冊
工芸	416 冊	2 冊	418 冊
版画	181 冊	3 冊	184 冊
デザイン・建築	117 冊	0 冊	117 冊
写真・映像	195 冊	0 冊	195 冊
書	212 冊	1 冊	213 冊
合計	6,588 冊	23 冊	6,611 冊



■ 調査・収集事業 ■

Investigation & Collecting

1 平成27年度貸出資料一覧

作者名	作品名	展覧会名	会場・会期	申請者（貸出先）
ミレー	垣根に沿って草を食む羊	東西のバルビゾン展	茨城県天心記念五浦美術館 平成27. 9. 4～10. 18	茨城県天心記念五浦美術館
ドービニー	ヴァルモンドワの小川			
東山魁夷	秋深	開館10周年記念展「美を求める心 東山魁夷を読む」	香川県立東山魁夷せとうち美術館 平成27. 9. 19～11. 3	香川県立東山魁夷せとうち美術館
板倉 鼎	金魚	よみがえる画家 板倉鼎・須美子展	松江市立博物館 平成27. 10. 10～11. 29	松江市教育委員会
	金魚と雲			
	静物			
	裸婦			
	巴里風景			
浅井 忠	餓鬼図	妖怪と出会う夏 in Chiba 2015	千葉県立中央博物館 平成27. 7. 11～9. 23	千葉県立中央博物館
	雷神の図			
	百奇夜行			
藤田喬平	春の小川	藤田喬平の芸術	富山市ガラス美術館 平成27. 11. 21～平成28. 1. 31	富山市ガラス美術館
	花瓶・三彩			
	飾篭・朱雀			
	流動・牡丹			
	容			
	飾篭・しだれ櫻			

2 平成27年度新収蔵資料一覧

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	受入方法	寸法（縦×横）cm
洋画						
1	板倉 鼎	巴里風景	1929	キャンバス・油彩	寄附	59.4×89.5
2	檜原 健三	犬吠埼を望む	1962	キャンバス・油彩	寄附	96.5×130.5
日本画						
3	諸星 成章	前赤壁図	1940	紙本・着彩	寄附	151.2×309.0
4		後赤壁図	1940	紙本・着彩	寄附	151.8×309.4
工芸						
5	堀 友三郎	ひき潮	1973	布・染色	寄附	133.4×89.5
6		秋の日	1994	布・染色	寄附	145.4×112.2
7	木村 和一	海女	1955頃	布・染色	寄附	60.0×45.8

3 平成27年度収蔵資料数一覧 平成28年3月31日現在

	購入	寄附	保管換	合計
日本画	128	186	26	340
洋画	355	552	41	948
彫刻	83	49	11	143
工芸	149	252	10	411
書	110	163	14	287
版画	175	106	5	286
合計	1,000	1,308	107	2,415
研究資料	243	1,322	54	1,619

■ 管 理 運 営 ■

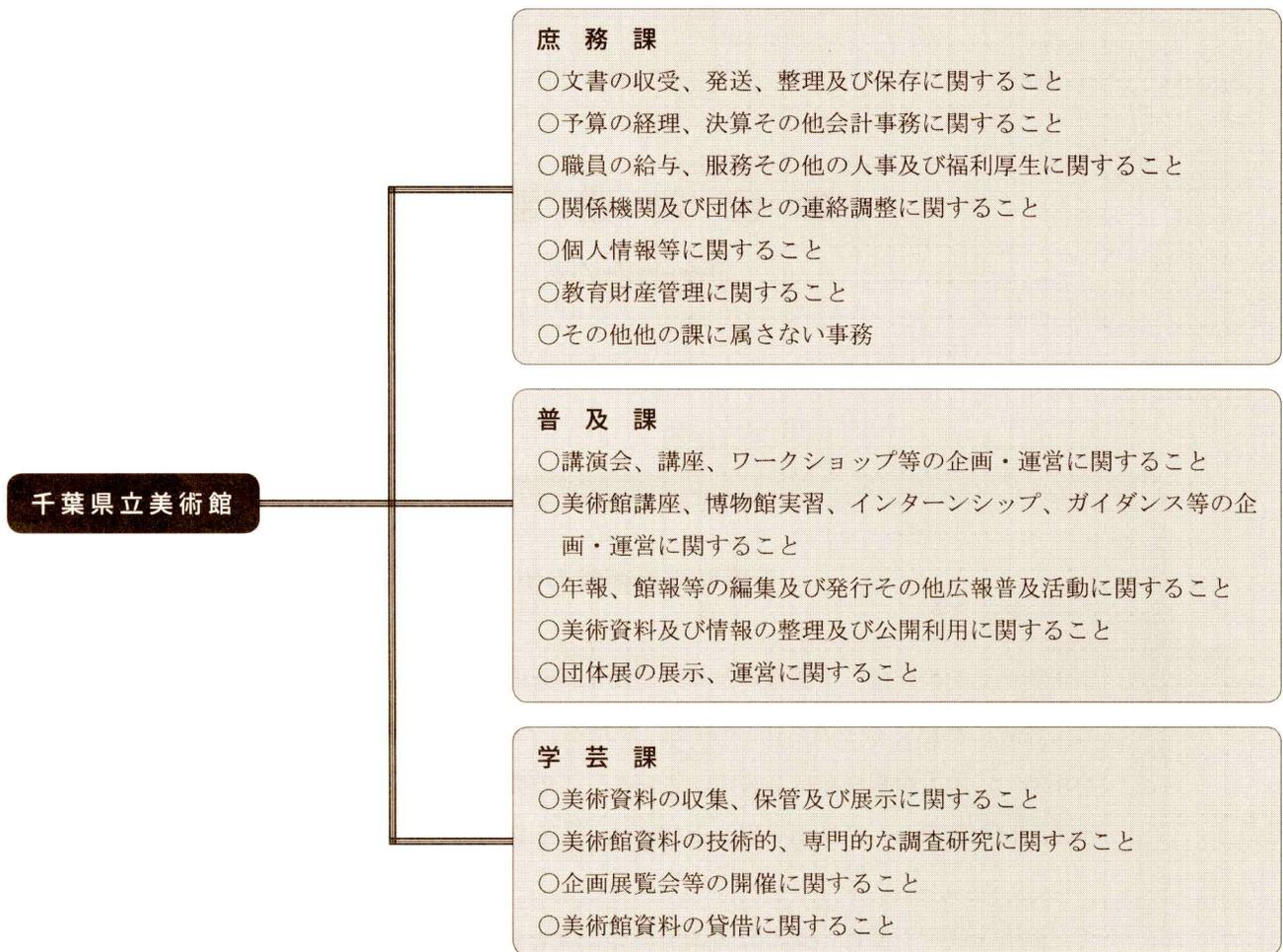
Administration

千葉県立美術館の使命

千葉県立美術館は、千葉県ゆかりの美術資料を中心として体系的に収集、保管して後世に継承するとともに、「みる、かたる、つくる」活動により新たな知見を創造し、美術情報を発信します。さらに、この美術活動をとおして、美術を愛する人材を育成し、県民の学習および地域づくりを支援します。

1. 調査・研究を基に、新たな美術資料の発見と価値を見出し、千葉県の美術・文化に関する資料を収集・保存して、後世に伝えます。
2. 美術資料や調査・研究の成果を知的資産として蓄積し、その情報を発信することによって県民と共有し、美術の振興と発展に寄与します。
3. 県民に専門性や体験を重視した生涯学習の機会を提供し、美術や文化を愛する人材を育成します。
4. 美術館は地域の核となって、美術をとおしてまちづくり、地域文化振興、地域おこし、といった地域づくりを支援します。

1 組織

**千葉県博物館協議会**

○教育機関設置条例第21条の2の規程により組織、運営している。

○館運営の円滑化を図るため、館長の諮問機関として置かれ、学校教育、社会教育関係者並びに学識経験者の中から県教育委員会が任命している。

千葉県立美術館友の会

○館の活動と提携し、展覧会・実技講座・美術鑑賞の旅の開催、会報の発行などを行っている。

2 平成27年度職員

館長	田村 俊雄	普及課 課長	主任上席研究員	幅井 喜代美
副館長兼庶務課長事務取扱	所 甚一		主任上席研究員	坂本 晶
副館長	郷 堀英司		上席研究員	石倉 亮治
			研究員	松田 直子
庶務課 副主幹	山本 恵美子	学芸課 課長	主任上席研究員	金田 幸代
主査	市原 功吉		主任上席研究員	秋山 笑子
主査	安井 美智代		主任上席研究員	中松 れい
副主査	鈴木 美津子		主任上席研究員	関口 達彦
主事	名古 彩華		上席研究員	東 健一

3 利用状況

(1) 平成27年度入館者一覧表

	開館 日数	入場者計	個人									
			計	有 料			無 料					
				計	一般	高・大生	計	一般	高・大生	小・中生	65歳以上	その他
4月	26	4,746	4,658	493	472	21	4,165	28	4	43	3,990	100
5月	27	9,555	9,434	724	679	45	8,710	34	1	70	8,484	121
6月	25	5,455	5,306	401	378	23	4,905	24	4	25	4,775	77
7月	27	8,857	8,796	664	629	35	8,132	106	3	319	7,550	154
8月	26	10,714	10,667	999	917	82	9,668	157	3	751	8,592	165
9月	26	7,701	7,677	382	359	23	7,295	35	0	58	7,135	67
10月	24	16,188	16,188	0	0	0	16,188	5,568	77	162	10,381	0
11月	25	7,848	7,625	510	495	15	7,115	1,463	147	157	5,221	127
12月	24	4,913	4,759	980	935	45	3,779	42	1	50	3,554	132
1月	24	24,508	24,445	1,297	1,244	53	23,148	43	3	238	22,579	285
2月	24	16,948	16,330	621	573	48	15,709	28	0	164	15,377	140
3月	27	5,140	5,084	500	468	32	4,584	30	1	71	4,385	97
計	305	122,573	120,969	7,571	7,149	422	113,398	7,558	244	2,108	102,023	1,465

	開館 日数	団 体										
		計	有 料			無 料						団体数
			計	一般	高・大生	計	一般	高・大生	小・中生	65歳以上	その他	
4月	26	88	16	16	0	72	0	0	0	72	0	4
5月	27	121	89	89	0	32	0	0	0	32	0	3
6月	25	149	28	28	0	121	6	0	49	36	30	5
7月	27	61	27	27	0	34	2	0	32	0	0	3
8月	26	47	3	3	0	44	0	0	26	18	0	2
9月	26	24	24	24	0	0	0	0	0	0	0	1
10月	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	25	223	42	42	0	181	5	0	23	118	35	5
12月	24	154	14	14	0	140	0	0	4	136	0	5
1月	24	63	9	9	0	54	0	0	0	54	0	2
2月	24	618	14	14	0	604	14	0	242	346	2	9
3月	27	56	21	2	19	35	0	0	0	35	0	2
計	305	1,604	287	268	19	1,317	27	0	376	847	67	41

(2) 平成27年度団体展一覧表

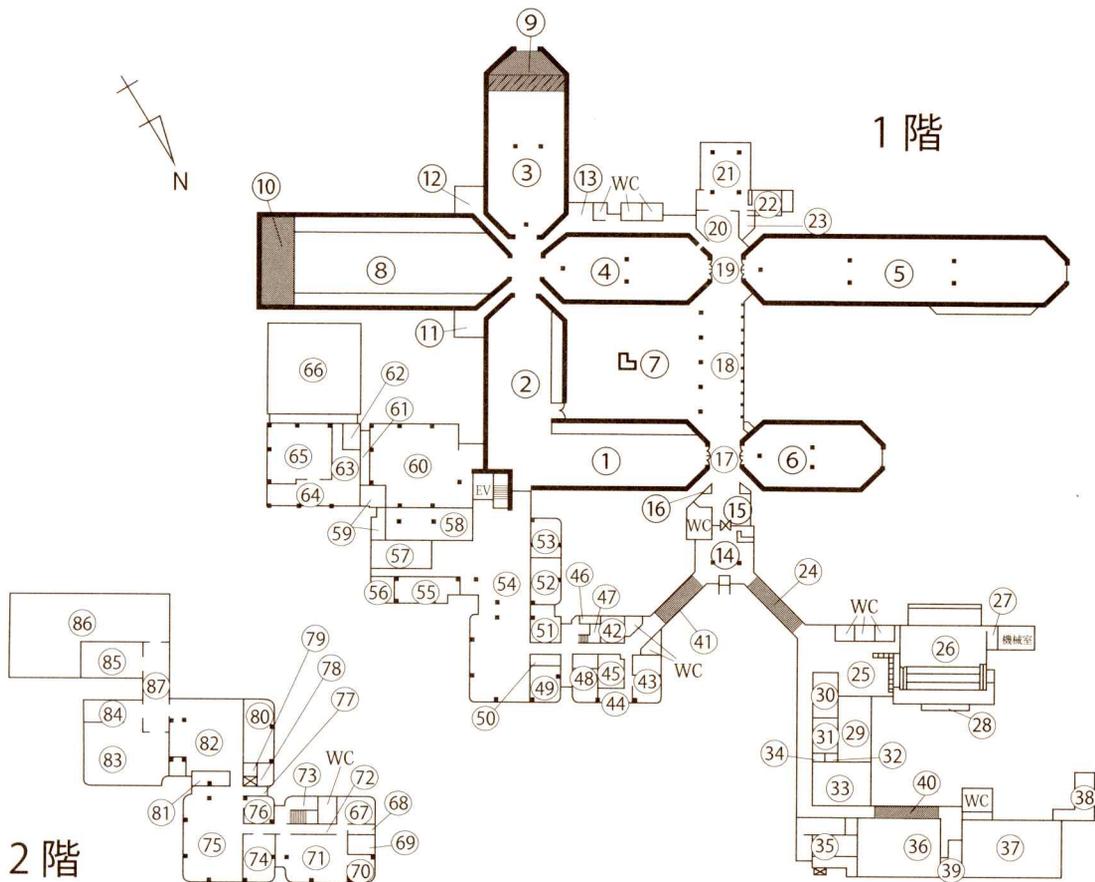
No.	展覧会名	展示内容	利用期間	出品点数	入場者数
1	第30回日本画四季展	日本画	4/6 月～4/19 日	85	1,679
2	第31回千葉県日本水彩展	水彩画	4/6 月～4/12 日	204	1,486
3	ガラス絵コクリコ会創立29年(第36回)展	ガラス絵	4/13 月～4/19 日	82	848
4	第40回武蔵美千葉支部展	洋画・日本画・デザイン・工芸等	4/20 月～4/26 日	77	840
5	第42回千葉新協美術展	洋画・日本画・版画	4/20 月～4/26 日	211	1,019
6	第18回平成美術会展	油画	4/27 月～5/6 水	81	1,500
7	仲間達展	油画・水彩画・版画・デッサン等	4/27 月～5/6 水	30	1,000
8	第41回歩会彫刻展	彫刻	4/27 月～5/10 日	43	1,965
9	表美展	表装	5/7 木～5/10 日	54	285
10	第53回千葉アマチュア美術会展	洋画・日本画・版画・書・彫刻・俳画・工芸等	5/11 月～5/17 日	729	2,373
11	公募第39回墨の県展	水墨画	5/18 月～5/24 日	302	1,932
12	第60回記念二科千葉支部展	洋画	5/25 月～5/31 日	39	1,009
13	第41回模展	絵画・立体・工芸・写真	5/25 月～5/31 日	524	4,324
14	第62回千葉県書道協会展	書道	6/1 月～6/7 日	419	885
15	第45回一般社団法人新構造千葉支部展	絵画・写真・工芸	6/1 月～6/7 日	154	647
16	第18回千葉多摩美会展	油画・日本画・デザイン・工芸等	6/15 月～6/21 日	50	1,379
17	第38回千葉一陽展	油画	6/15 月～6/21 日	133	1,856
18	第43回水彩連盟千葉支部展	水彩画	6/22 月～6/28 日	120	851
19	第23回三軌会千葉支部展	絵画・写真	6/29 月～7/5 日	151	820
20	第24回玄鳥書院展	書道	6/29 月～7/5 日	37	790
21	Water Color千葉	水彩画	7/6 月～7/12 月	58	1,243
22	第60回記念千葉二紀展	油画	7/6 月～7/12 月	92	1,060
23	第25回千葉県木彫会展	彫刻	7/6 月～7/12 月	45	540
24	第47回千葉市水墨画同好会連合会展	水墨画	7/13 月～7/20 月	476	1,679
25	平成27年度第59回千葉県小中学校書写展覧会	書道	7/21 火～7/26 日	678	2,237
26	第47回習美会初夏大作展	洋画・日本画・水墨画	7/21 火～7/26 日	277	1,355
27	第32回千葉県医師会美術展	油画等	7/21 火～7/26 日	93	814
28	第44回写真千葉県展	写真	7/27 月～8/9 日	282	2,750
29	第25回記念太平洋美術会千葉支部展	油画・水彩画・版画・彫刻・染織	7/27 月～8/2 日	115	1,094
30	ハングル書道・韓国伝統文化展	ハングル書道	7/27 月～8/2 日	80	381
31	平成27年度千葉県特別支援学校作品展	造形・絵画・写真・書道	7/27 月～8/2 日	487	1,196
32	東華書院展(第18回展)	書道	8/3 月～8/9 日	323	975
33	千葉硯心会書作展	書道	8/3 月～8/9 日	42	700
34	第45回いてふ会彫刻展	彫刻	8/3 月～8/9 日	26	853
35	第55回白扇書道会展	書道	8/10 月～8/16 日	2,514	3,146
36	千葉県大学美術連盟展	絵画・立体造形	8/17 月～8/23 日	66	503
37	第47回第一美術協会千葉県支部展	絵画・彫刻・工芸	8/17 月～8/23 日	116	1,318
38	第12回なの花書道展	書道	8/17 月～8/23 日	141	780
39	第53回新世紀千葉支部展	油画・水彩画・版画	8/24 月～8/30 日	47	780
40	第32回千葉中美展	油画・水彩画・日本画	8/24 月～8/30 日	193	1,065
41	第21回創土会陶芸展	陶芸	8/24 月～8/30 日	328	639
42	第38回等迦会千葉県支部展	油画	8/31 月～9/6 日	48	518
43	第60回千葉県勤労者美術展	絵画・書・写真	8/31 月～9/6 日	101	594
44	第40回陽画会油絵展	油画	9/8 火～9/13 日	87	1,141

No.	展覧会名	展示内容	利用期間	出品点数	入場者数
45	第65回千葉デザイン展	デザイン	9/7 月～9/13 月	95	536
46	千葉県高等学校総合文化祭第47回合同写真展	写真	9/14 月～9/23 水	998	783
47	第38回千葉県写真展	写真	9/7 月～9/23 水	300	2,423
48	第22回千葉県教育芸術祭	総合芸術	9/14 月～9/23 水	309	785
49	第65回千葉県美術展覧会(県展)	洋画・日本画・工芸・彫刻・書道	9/24 木～10/18 日	2,416	15,591
50	葉美会展	油画等	10/19 月～10/25 日	82	1,004
51	第27回平和を願う美術展	油画・水彩画・日本画・水墨画・版画・写真・彫刻・工芸・陶芸・インスタレーション	10/19 月～10/25 日	257	1,400
52	一般社団法人二科会写真部第35回千葉支部展	写真	10/19 月～10/25 日	80	1,086
53	第27回千葉県高等学校総合文化祭「美術工芸書道作品展」	絵画・工芸・書道	10/26 月～11/8 日	2,473	5,170
54	第12回日本春秋書院千葉書道団展	書道	11/9 月～11/15 日	87	547
55	千葉水墨画展	水墨画	11/9 月～11/15 日	136	522
56	創造美術会千葉支部展	洋画・日本画・染織画・彫刻・陶芸	11/9 月～11/15 日	69	501
57	第11回伝統工芸陶芸会展	陶芸	11/16 月～11/23 月	211	757
58	第42回文化書道千葉県連合会公募展	書道	11/16 月～11/23 月	65	995
59	第16回東方国際美術展	水墨画・書	11/24 火～11/29 日	170	538
60	第47回千葉現展	絵画・デザイン・工芸等	11/24 火～11/29 日	61	575
61	第27回日本童謡の書展	書道	12/7 月～12/13 日	1,563	1,149
62	第43回富士百景写真展	写真	1/4 月～1/11 月	103	1,912
63	第22回千葉読売写真展	写真	1/12 火～1/17 日	342	1,570
64	第13回陶友会合同作品展	陶芸	1/18 月～1/24 日	202	1,051
65	第27回書星選抜展	書道	1/18 月～1/24 日	244	721
66	第60回こども県展	水彩画	1/25 月～2/7 日	9,291	27,413
67	千葉大学教育学部美術科・図工科卒業制作展	絵画・彫刻・構成	2/8 月～2/14 日	21	1,307
68	第41回子ども造形展	油画等	2/8 月～2/14 日	1,580	2,675
69	第68回千葉県小・中・高校書き初め展覧会	書道	2/8 月～2/14 日	674	1,926
70	第50回千葉大学教育学部学生書道展	書道	2/15 月～2/21 日	83	396
71	千葉日報書道展	書道	2/22 月～2/28 日	389	1,213
72	第41回千葉県民写真展	写真	2/29 月～3/6 日	440	1,501
73	キルトリーダーズ千葉第12回パッチワークキルト展	パッチワークキルト	2/29 月～3/6 日	92	600
74	第21回翔洋展	油画	3/7 月～3/13 日	32	440
75	第63回書星教育部展	書道	3/14 月～3/21 月	1,659	1,723
76	千葉県立幕張総合高等学校書道展	書道	3/22 火～3/27 日	88	322

4 施設

展示棟		管理棟		県民アトリエ棟	
玄関ホール	102.40㎡	(1階)		1F 機械室	25.92㎡
クローク	91.80㎡	第2会議室	22.62㎡	講堂倉庫	8.64㎡
倉庫A	2.70㎡	更衣室	14.38㎡	講堂	259.24㎡
倉庫B	2.70㎡	医務室	21.18㎡	コントロール室	30.33㎡
第1展示室	437.76㎡	書庫	22.02㎡	ホール側便所	29.97㎡
第2展示室	400.32㎡	警備員室	43.59㎡	情報資料室	172.77㎡
第3展示室	469.08㎡	第1会議室	20.15㎡	情報資料室倉庫	4.70㎡
第4展示室	403.20㎡	倉庫	7.19㎡	事務室	22.76㎡
第5展示室	824.19㎡	湯沸室	5.19㎡	研修室	74.70㎡
第6展示室	330.58㎡	便所	24.54㎡	研修室倉庫	4.23㎡
第7展示室	566.56㎡	宿直室	34.20㎡	第1アトリエ	155.70㎡
第8展示室	864.61㎡	物置	9.92㎡	第2アトリエ	184.31㎡
食堂	119.52㎡	用務員室	31.83㎡	第3アトリエ	95.47㎡
厨房	36.00㎡	審査室・資料準備室・荷解室	520.68㎡	アトリエ側便所	20.77㎡
従業員控室	17.28㎡	消毒室	31.79㎡	荷解室	25.65㎡
食堂ホール	49.20㎡	資料倉庫	124.25㎡	窯場	27.17㎡
ミュージアムショップ	12.00㎡	荷解梱包室	52.67㎡	窯場倉庫	6.66㎡
ロビー	335.52㎡	荷扱入室	21.94㎡	ホールその他	352.67㎡
第1休憩室	23.04㎡	機械室	51.74㎡	計 ③	1,501.66㎡
第2休憩室	23.04㎡	廊下等	123.97㎡	合計	10,663.57㎡
第3休憩室	23.04㎡		小計 1,183.85㎡	(①+②+③)	
便所A	30.24㎡	(2階)			
便所B	23.76㎡	館長室	33.27㎡	<参考>	
身障者用便所	7.92㎡	副館長室	23.42㎡	*展示室総面積	4,296.30㎡
コントロール室	20.16㎡	第1応接室	14.67㎡	*収蔵庫総面積	771.50㎡
フィルター室	28.92㎡	第2応接室	14.55㎡		
工作室	31.00㎡	庶務課室	112.34㎡		
発電気室	25.00㎡	会議室	43.84㎡		
電気室	123.20㎡	学芸課・普及課室	195.32㎡		
ポンプ室	76.80㎡	学芸相談室	23.91㎡		
機械室	305.20㎡	研究工作室	216.49㎡		
機械室(新)	283.82㎡	写真スタジオ	54.30㎡		
高架水槽室	11.46㎡	器材室	6.74㎡		
E.V機械室	27.28㎡	暗室	12.19㎡		
E.V廻り	54.56㎡	第1収蔵室	184.40㎡		
ダクトスペース	35.68㎡	第2収蔵室	42.81㎡		
廊下等	123.48㎡	第3・4収蔵室	544.29㎡		
計 ①	6,343.02㎡	E.V前室	16.39㎡		
		便所	21.50㎡		
		湯沸室A	3.24㎡		
		〃 B	6.87㎡		
		廊下等	60.94㎡		
		ダクトスペースその他	3.56㎡		
		小計	1,635.04㎡		
		計 ②	2,818.89㎡		

施設平面図



《展示棟》

- 1 第1展示室
- 2 第2展示室
- 3 第3展示室
- 4 第4展示室
- 5 第5展示室
- 6 第6展示室
- 7 第7展示室
- 8 第8展示室
- 9 第3展示室倉庫
- 10 第8展示室倉庫
- 11 休憩室1
- 12 休憩室2
- 13 休憩室3
- 14 玄関ホール
- 15 売店
- 16 清掃用具置場
- 17 小展示室ロビー
- 18 ロビー
- 19 中展示室ロビー
- 20 食堂ホール
- 21 食堂
- 22 厨房
- 23 厨房控室

《アトリエ棟》

- 24 アトリエ通路
- 25 ホール
- 26 講堂
- 27 講堂倉庫
- 28 放送室
- 29 情報資料室
- 30 事務室
- 31 書庫
- 32 情報資料室倉庫
- 33 研修室
- 34 研修室倉庫
- 35 第3アトリエ(和室)
- 36 第1アトリエ
- 37 第2アトリエ
- 38 窯場
- 39 アトリエ搬入口
- 40 アトリエ廊下

《管理棟》

- 41 管理棟通路
- 42 第1会議室
- 43 第2会議室
- 44 医務室

- 45 文書庫
- 46 1F 給湯室
- 47 用務員倉庫
- 48 警備室
- 49 警備員室
- 50 清掃用具置場
- 51 用務員室
- 52 機械室
- 53 燻蒸室
- 54 審査室
- 55 荷解梱包保管室
- 56 控室
- 57 車庫
- 58 資料倉庫
- 59 コントロール室
- 60 B1 機械室
- 61 フィルター室
- 62 発電機室
- 63 工作室
- 64 ポンプ室
- 65 電気室
- 66 第2機械室
- 67 館長室
- 68 応接室

- 69 資料室
- 70 副館長室
- 71 庶務課
- 72 2F 廊下
- 73 庶務給湯室
- 74 会議室
- 75 学芸・普及
- 76 学芸相談室
- 77 学芸普及給湯室
- 78 暗室
- 79 暗室倉庫
- 80 スタジオ
- 81 仮収納庫
- 82 研究工作室
- 83 第1収納庫
- 84 第2収納庫
- 85 第3収納庫
- 86 第4収納庫
- 87 収納庫前室

平成27年度利用案内

■開館時間

開館時間 午前9時から午後4時30分

休館日 月曜日（ただし、月曜日が祝日のときは開館し、翌日休館）
年末年始（12月28日～1月4日）

■入場料（※（）内は20名以上の団体料金）

アート・コレクション展

一般	300円（240円）
高校・大学生	150円（120円）
小・中学生	無料
65歳以上	無料

平成27年度特別企画展「香取神宮一神に奉げた美」

一般	800円（640円）
高校・大学生	400円（200円）
小・中学生	無料
65歳以上	無料

■交通

電車・モノレール

JR京葉線・千葉都市モノレール千葉みなと駅下車徒歩約10分

千葉駅からバス利用

千葉駅東口《11番のりば》

「稲毛海岸駅」「幸町団地」「海浜病院」行（ポートアリーナ経由）『市役所中央署入口』下車徒歩約8分

千葉駅西口《26番のりば》

千葉みなとループバス（タワーコース）「千葉ポートタワー」行『千葉みなとリハビリ病院』下車徒歩約3分

自動車

東京方面から 東関東自動車道『湾岸習志野』I.Cから約20分

成田方面から 京葉道路『穴川』I.Cから約20分

東金方面から 千葉東金道路『千葉東』I.Cから約20分

館山方面から 京葉道路『松ヶ丘』I.Cから約20分

駐車場無料（78台利用可・うち2台は身体障害者用）

平成27年度 千葉県立美術館年報 (No.42)

平成29年3月31日発行

発行者 千葉県立美術館

〒260-0024 千葉市中央区中央港1丁目10番1号

Tel 043(242)8311

Fax 043(241)7880

URL <http://www.chiba-muse.or.jp/ART/>

みる ● ●
か た る ■
つ くる ■